

(1) 本時の目標

話し合いを通して、ちいちゃんは幸せだったのかについて、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

【思】文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの考えの相違点に気づき、自分の考えを書くことができている。

時間	学習活動・予想される子どもの反応	☆指導上の留意点 ◎支援	評価規準(評価方法)
5分 課題把握	○前時までのふり返しを行う。 ○学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">㊦ 第4場面のちいちゃんは幸せだったのか考えよう。</div> 第4場面を音読する。	◎前時までのノートや掲示物をふり返りに活用する。 ☆めあてを書き、本時の学習課題を意識し、見通しを立たせる。	
10分 自力解決	○かげおくりで家族に会えたちいちゃんは、幸せだったのかについて考える。 (幸せ) ・ちいちゃんはひさしぶりに家族に会えてうれしいと思っているから。 ・きらきら笑い出しているから。 ・花畑の中を走りだしているから。 (幸せじゃない) ・本当はひとりぼっちのかげおくりで、家族は幻だから。 ・ちいちゃんは体が軽くなっているところから、死んでしまっているから。	☆本文から、ちいちゃんの気持ちや様子を読み取り、自分の考えを書いていく。 ◎前時までのノートや掲示物を参考にする。	【思】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(記述)
20分 集団解決	○グループで話し合う(4人班) 相手の意見の考えや疑問をもとに話し合う。 ○全体で話し合う «自分の考えを持ち、相手の意見を聞き、自分の考えを広げる» ※相互指名や、ハンドサインを取り入れ話し合いをスムーズに行いつつ、内容を整理しながら進めていく。	☆中心となる児童を、班の中で設定しておく。 ☆自分の意見がなかなか書けない児童の中に他者の意見をノートに記入したい児童も複数いるので、容認する。 ☆話し合いの流れを止めないように、教師は聞き役になりながら、板書を行い、意見を整理していく。 ◎児童の話し合いが途切れた時に、こちらから発問をしたり、事前の机間指導で、ノートによく書けている児童に声をかけたりする。	【態】話し合いの中で、一人一人の感じ方や考え方の違いに気づくことができる(発表・記述)
10分 ふりかえり	○学習をふり返る。 【B 評価】・○○さんの「ちいちゃんの気持ちになると、最後に家族に会えたから幸せだと思う。」と言う意見に納得しました。・△△さんが「ちいちゃんは戦争で家族がみんな死んでしまって、最後もひとりぼっちで死んでしまったので幸せじゃない。」という意見が同じでした。 【A 評価】・かげおくりでひさしぶりに家族に会えたから幸せだと思っていたけど、○○さんの「この戦争がなかったら、ちいちゃんはひとりぼっちになることもなかったから、やっぱり幸せではない。」という意見を聞いて、考えが変わりました。・戦争のせいで、ちいちゃんはひとりぼっちで死んでしまったのでやっぱり幸せじゃないと思います。でも、△△さんが「きらきら笑いました。」というところから、まぼろしでも家族に会えたちいちゃんは最後に幸せな気持ちになったのかな?と思いました。	☆ふり返りの時間を設ける。 ☆話し合いを通して、共感した場面や、できなかった質問、疑問点など、他者の意見でより深く自分の意見が深まったところを書くように支援する。 ◎ふり返しを書くことに苦手意識のある児童には、自分の考えをまとめる手立てとして、板書や前時までの学習の掲示物、ふり返しカード(ロイロノート)を参考・活用させながら支援を行う。	【思】他者の意見を踏まえてふり返しをし、自分の考えを深める内容を書くことができる。(記述)